

なつ やす ぶん らく かん ひょう 夏休み文楽鑑賞のつどい

令和8年7月24日(金)

開場: 10時30分

幕開三番叟: 10時45分 開演: 11時

終演: 13時予定

解説 ぶん らく 文楽ってなあに?

演目 ゆきは こんこん すがたのみずらみ 雪狐々姿湖



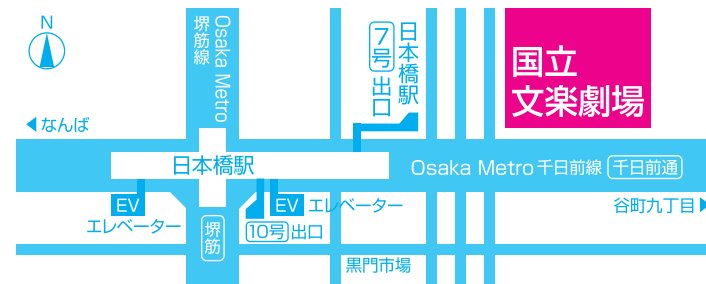
「雪狐々姿湖」 画像提供: 国立文楽劇場

座席指定券: おひとり2,200円 《生協特別料金》

参加対象: 4才以上 (3才以下のお子様は入場できません)

●ご入場にはおひとり各1枚座席指定券が必要です。

- 大人の方のみでも申込みいただけます。●座席指定のご要望はお受けできません。
- お申込多数の場合は抽選となります。



会場: 国立文楽劇場

大阪市中央区日本橋1-12-10 06-6212-2531(代)

Osaka Metro・近鉄「日本橋」駅下車7号出口、東へ徒歩1分
駐車場がございませんのでお車での来場はご遠慮ください。

●主催/大阪府生活協同組合連合会 ●後援/大阪府

なつ やす ぶん らく み い 夏休みは文楽を観に行こう!!

ことし まち ま なつやす ぶんらくかんしょう きせつ
今年も待ちに待った「夏休み文楽鑑賞のつどい」の季節がやってきました。

ぶんらく おおさかじん そだ にほん だいひょう でんとうげいのう ひと たゆう しゃみせん えんそう
文楽は、大阪人が育てた、日本を代表する伝統芸能の一つです。太夫と三味線が演奏する
おんがく ぎだゆうぶし さんにん にんぎょうつか ひと にんぎょうあやつ ぶたい いったい ものがたり しんこう
音楽(義太夫節)と、三人の人形遣いが一つの人形を操る舞台が一体となり、物語が進行します。

こんかい じょうえん ゆきはこんこんすがたのみずうみ こんざん あき りょうしげんざ いえ ふゆ こはん
今回、上演しますのは、「雪狐々姿湖 崑山の秋/ 獵師源左の家より冬の湖畔」です。わか
りやすい解説も付き、人形浄瑠璃文楽の魅力を満喫していただけます。

まくあきさんばぞう 幕開三番叟

かいえんまえ ぶたい きよ ひ こうえん ぶじ いの おこな
開演前に舞台を清め、その日の公演の無事を祈るために行います。

ゆきはこんこんすがたのみずうみ 雪狐々姿湖

こんざん あき りょうしげんざ りえ ふゆ こはん
崑山の秋/ 獵師源左の家より冬の湖畔

高見順=原作 有吉佐和子=作

しんしゅう ながのけん すわ こ でんせつ ものがたり
信州(長野県)諏訪湖の伝説をもとにした物語です。
きつね しらゆり いのち たす りょうし げんざ こい
狐の白百合は、命を助けてくれた獵師の源左に恋をし
ています。宝珠の不思議な力で、白百合は人間に姿を
か しょうたい かく げんざ つま しあわ く
変え、正体を隠して源左の妻になります。幸せに暮らす
しらゆり あわ うんめい たど
白百合でしたが、やがて哀れな運命を辿るのでした……。
もみじ いろ あき やま げんざ いえ いちめん ゆき おお
紅葉が色づく秋の山、源左の家、そして一面の雪に覆
われた湖のほとり——美しい山間の風景の中で狐の哀
しい物語が展開します。



かいせつ ぶんらく 解説 文楽ってなあに?

おおさか う えど じだい やく ねん い じょう はぐく にんぎょうじょうるりぶんらく
大阪で生まれ、江戸時代から約三〇〇年以上にわたって育まれてきた人形浄瑠璃文楽。
みりよく ひみつ しょうかい
その魅力の秘密をちょっとだけご紹介します。

ちゅうもく
【注目!】イヤホンガイド(音声の同時解説)は、「物語のあらすじなどをくわしく解説して
くれる」と大好評です。高校生までの方は無料、大人は800円でご利用いただけます。